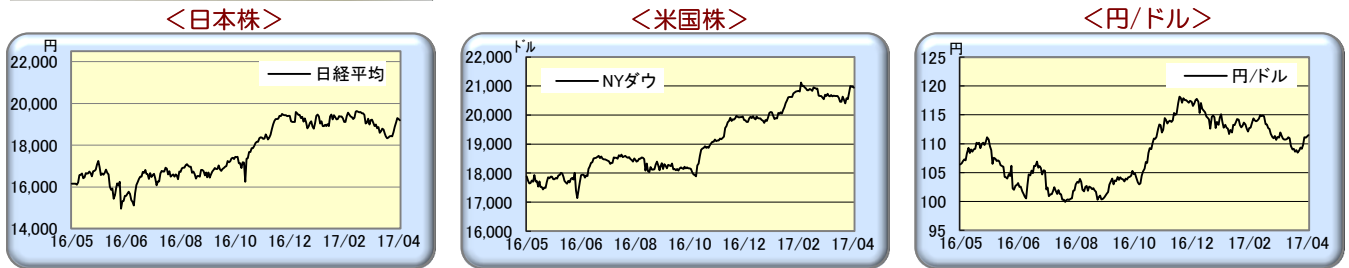


1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

| | 単位 | 2016/12/30 | 2017/4/28 | 2017/4/28 | 過去3年高値 | | 過去3年安値 | |
|------|----|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | (前年末) | (前月末) | (前週末) | 水準 | 日付 | 水準 | 日付 |
| 日経平均 | 円 | 19,114.37 | 19,196.74 | 19,196.74 | 20,952.71 | 2015/6/24 | 13,964.43 | 2014/5/21 |
| NYダウ | ドル | 19,762.60 | 20,940.51 | 20,940.51 | 21,169.11 | 2017/3/1 | 15,370.33 | 2015/8/24 |
| 円/ドル | 円 | 116.96 | 111.49 | 111.49 | 125.86 | 2015/6/5 | 99.02 | 2016/6/24 |

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ フランス大統領選挙の第1回目の投票結果などを受けてリスク回避の巻き戻しの動きが進む中、大幅上昇 ～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+575.99円(+3.09%)、TOPIXが+43.22ポイント(+2.90%)となり、フランス大統領選挙の第1回目の投票結果などを受けてリスク回避の巻き戻しの動きが進む中、大きく上昇する展開となりました。業種別(東証33業種)にみると、非鉄金属、機械、精密機器など全業種が上昇しました。週明け24日の日本株市場は、23日に行われたフランス大統領選挙の第1回目の投票において、事前予想通り政治的に極右のルペン候補とともに中道のマクロン候補が5月7日の決選投票に進むことが決まったことを受けてリスク回避の巻き戻しの動きが進む中、大きく上昇して始まりました。その後週末にかけても、①北朝鮮が北朝鮮軍創建85周年となる25日に核実験等を行わなかったこと、②26日、トランプ政権が税制改革の基本方針を発表したことなども好感され、堅調に推移しました。

3. 今週の主な予定

| 日程 | 曜日 | 国・地域 | 項目 | 前日 |
|------|-----|------|------------------------|------------|
| 5月1日 | Mon | 米国 | ISM製造業景況指数 | 4月 57.2 |
| 5月2日 | Tue | 米国 | FOMC(米連邦公開市場委員会)3日まで | |
| | | 中国 | 財新中国製造業PMI | 4月 51.2 |
| 5月3日 | Wed | 米国 | ADP雇用統計 | 4月 263千人 |
| | | | ISM非製造業景況指数(総合) | 4月 55.2 |
| 5月4日 | Thu | 米国 | 非農産部門労働生産性 | 1-3月期 1.3% |
| | | | 貿易収支 | 3月 -436億ドル |
| | | | 製造業受注指数 | 3月 1.0% |
| | | | 非農産部門雇用者数変化 | 4月 98千人 |
| 5月5日 | Fri | 米国 | 失業率 | 4月 4.5% |
| | | | イエレンFRB(米連邦準備理事会)議長の講演 | |
| 5月7日 | Sun | 欧州 | 仏 大統領選挙 決選投票 | |

| 決算発表予定 他 | 日本 |
|---|---|
| | 決算発表 : 5/1 京セラ、ローム、双日、伊藤忠テクノソリューションズ、ポーラ・オルビスホールディングス 5/2 伊藤忠商事、オリンパス |
| 米国 | |
| 決算発表 : 5/1 アドバンス・マイクロデバイス 5/2 メルク、ファイザー、マスタートカード、コチ、ギリアド・サイエンズ、アップル 5/3 タイム・ワーナー、ヤム・フランス、プルデンシャル・ファイナンシャル、スプリント、メットライフ、テスラ、フェイスブック、クラフト・ハイツ 5/4 バイアコム、CBS | |

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 上昇基調が続くが、GW(ゴールデンウィーク)の谷間となる中、イベントを控えて上値も抑えられる ～

今週の日本株市場は、①リスク回避の動きが後退する中、円安ドル高傾向にあること、②25日移動平均が上向きに転じるなどテクニカル面からみて底入れ感が強まっていることなどから、上昇基調が続くと予想します。但し、GWの谷間で2営業日のみとなる中、①29日の北朝鮮によるミサイル発射を受けて米朝間の軍事的緊張への警戒感が払拭されないこと、②2~3日にかけて行われるFOMCで利上げは見送られるとみているものの、声明文に6月利上げを示唆する内容が含まれる可能性があること、③7日にはフランス大統領選挙の決選投票が行われることなどから、一段と上昇する局面では短期的な利益確定の売りに上値が抑えられる展開を想定します。

その他の注目材料として、日本では主要企業の決算発表、米国では1日のISM製造業景況指数や5日の雇用統計など主要経済指標の発表、中国では2日の財新中国製造業PMIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。